

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~2日	1月 ~9日	1月 ~16日	1月 ~23日	1月 ~30日	2月 ~6日	2月 ~13日	2月 ~20日	2月 ~27日	3月 ~6日	3月 ~13日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	9	33	15	11	8	12	4	10	8	11	7
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	8	3	2	6	10	14	5	7	15	11	12
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	2	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	5	15	9	4	2	3	1	4	4	6	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	7	2	5	1	4	2	6	1	1	3	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第10週(3月7日~3月13日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1				4	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1							1
五類	12	後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	11	1		2		7		1
新型インフルエンザ 等感染症	4,811	新型コロナウイルス感染症	4,811	654	381	292	102	2,320	248	814

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第10週に2,321件の報告がありました。新規感染者数は高止まりとなっています。

感染拡大を防止するため、基本的な感染防止対策に加え、出勤者の削減、体調不良時の早期受診、検査の積極的受検などの対策を徹底しましょう。

また、年度末や年度初めは会食の機会が増加します。会食の際には感染防止対策を徹底しましょう。

【参考】

感染拡大防止に向けた取組(内閣官房)

<https://corona.go.jp/proposal/>

広島積極ガード店ゴールド認証制度について(広島県)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/inshokutaisaku/inshokusekkyoku-gold.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



2 梅毒

7件の報告がありました。今年の累計は44件(昨年同時期7件)となり多い状況が続いています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがありますので、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

3 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は2件となりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見、早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	5.41			流行性耳下腺炎	1	0.04	0.07		
	咽頭結膜熱	1	0.04	0.37			RSウイルス感染症	4	0.17	0.24		
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.25	2.42			急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	88	3.67	6.64			流行性角結膜炎	2	0.25	0.23		
	水痘	1	0.04	0.30			細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	6	0.25	0.12			無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.22			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09		
	突発性発しん	1	0.04	0.33			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.66		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	18	60歳代・2人、80歳代・2人
5	後天性免疫不全症候群	1	2	30歳代・感染者
5	梅毒	7	44	20歳代・3人、30歳代・1人、40歳代・2人、80歳代・1人